

平成 29 年 3 月 9 日

公益財団法人カメイ社会教育振興財団

平成 29 年度「助成」募集要項

〔目 次〕	(P)
I. 申請書入手方法	2 P
II. 「助成」の種類	
(A) 博物館学芸員等の内外研修に対する助成	2 P
(B) 博物館に関する国際交流に対する助成	2 P
(C) 青少年の社会教育活動に対する助成	3 P
(D) 文化及び芸術等の振興に対する助成	3 P
III. 提出書類について	3 P ~ 4 P
IV. 対象期間	4 P
V. 募集期間	4 P
VI. 選考方法	4 P
VII. 選考結果	4 P
VIII. 助成金の交付	4 P
IX. 個人情報の取扱い	4 P
X. 助成申請についてよくある質問集	5 P
送付先・お問い合わせ先	6 P

I. 申請書入手方法

申請書用紙は「助成」の種類（A～D）で異なりますのでご注意ください。

- ① 財団事務局宛、切手 92 円と返信用封筒を同封して申し込む。
- ② 財団のホームページ (<http://www.kameimuseum.or.jp/foundation/>) よりダウンロードする。

II. 「助成」の種類(A～D)

(A) 博物館学芸員等の内外研修に対する助成

1. 対象：学芸員等の博物館職員が、調査研究を行うための内外研修費用
 2. 応募資格：
 - (1) 次のいずれかに該当する者で、所属長の推薦がある者
 - イ. 学芸員資格を有し、大学卒業後 10 年以上博物館等において専門的な職務に従事している者
 - ロ. 大学院修了者で研究調査等の専門職に従事している者
 - ハ. 学芸員資格は有しないが、大学卒業後 10 年以上博物館等において専門的な職務に従事している者
 - 二. 上記イ～ハに準じる者
 - (2) 研修先が確定していること
 - (3) 研修先が外国の場合は、研修に耐え得る語学力及び体力を有すること
 - (4) 原則として、若手（45 歳以下）であること
3. 助成額：1 件当たり 20 万円以内
4. H28 年度実績：12 件
5. **応募の際の添付資料：**
 - ・所属する博物館館長の推薦書

(B) 博物館に関する国際交流に対する助成

1. 対象：
 - ・国内の博物館が、海外からの作品等を展示公開する際の費用
 - ・学芸員等の博物館職員が、資料の保存技術、展示方法等に関するケーススタディ・情報交換など国際交流を行うための費用
2. 助成額：1 件当たり 50 万円以内
3. H28 年度実績：4 件
4. **応募の際の添付資料：**
 - ・博物館の概要又は博物館を証明するもの

(C) 青少年の社会教育活動に対する助成

1. 対 象：社会教育団体、又は青少年を対象とする団体が行う青少年の健全育成のための社会教育活動、又はこれを促進するための事業
2. 助 成 額：1件当り40万円以内
3. H28年度実績：17件
4. 応募の際の添付資料：
 - ① 申請団体の所属する地域の**教育委員会又はこれに準じる公的機関の推薦書**
 - ② 申請団体の概要、組織表及び定款又は規約集
 - ③ 過年度の実績をまとめたもの

(D) 文化及び芸術等の振興に対する助成

1. 対 象：団体等が行う文化及び芸術等の社会教育活動又はこれを促進するための事業
2. 助 成 額：1件当り40万円以内
3. H28年度実績：17件
4. 応募の際の添付資料：
 - ① 申請団体の所属する地域の**教育委員会又はこれに準じる公的機関の推薦書**
 - ② 申請団体の概要、組織表及び定款又は規約集
 - ③ 過年度の実績をまとめたもの

III. 提出書類について

1. 提出書類
 - ① 当財団所定の申請書用紙に必要事項を記入した「**申請書**」及び「**推薦書**」を「**正**」1組・「**副**（コピー可）」1組、計2組
 - ② 「**推薦書**」以外の添付資料「**正**」1組
 - ③ 切手92円分〔82円切手と10円切手に分けて〕
 - ④ 申請担当者の宛名を明記した返信用封筒
〔長3サイズ(120ミ×235ミ)・封筒に切手は貼らない〕

以上①～④を、“簡易書留”で送付願います。

なお、応募の書類等は返却致しませんので、予めご了承の程お願い申し上げます。

※推薦書については、5ページの「助成申請のよくある質問集」をご参照下さい。

※添付資料の提出が遅れる場合は、前もってご連絡下さい。

2. 提出書類の注意事項

- ① **申請書及び推薦書**は、ご提出後複写して使用するため、**両面印刷、ホチキス留めは避け、クリップで留めて提出**して下さい。
- ② 添付資料について、冊子等から引用する場合は、**当該箇所がはっきりわかるようにして提出**して下さい。(DVD・CD-R等は不可)
- ③ 提出封筒の表面に、**助成の種類(A～D)を大書**して下さい。

**添付資料に不足がある場合は、審査の対象外となりますので
ご注意ください。(但し、申請書の誤り等についてはご連絡します。)**

IV. **対象期間**：平成29年4月1日から平成30年3月31日までに、確実に実施される活動又は事業であること。

V. **募集期間**：・受付開始：平成29年3月9日(木)
・応募締切：平成29年4月14日(金) **【必着】**

VI. **審査方法**：当該事業年度の予算に従い、公募したものの中から、有識者による選考委員会が審査・選考し、決定致します。

VII. **審査結果**：各応募者宛、書面にてご通知申し上げます。(平成29年6月初旬予定)

VIII. **助成金の交付**：平成29年11月中旬の予定です。

IX. **個人情報の取扱い**：応募された方のご氏名・所属・連絡先等の個人情報は、本「助成選考」の目的にのみ使用致します。

※ 採択された助成案件に関し、**団体名・活動内容等(助成額を除く)を、当財団ホームページで公開致しますので、予めご了承の程お願い申し上げます。**

X. 助成申請についてよくある質問集

【推薦書について】

Q: 推薦書とはどのようなものでしょうか？ 書式はありますか？

A: 申請団体の公的機関からの評価を含めたその団体の実態を把握するためのものです。
書式は特にありません。A4用紙1枚に下記の項目を記入していただき、推薦をお願いする団体の代表者の方のお名前でご印または代表者印をいただいて下さい。

1. 推薦する団体名・代表者名
2. 申請活動(事業)名
3. これまでの活動の評価
4. 推薦理由〔最も重要です〕

Q: 推薦書は必要なものでしょうか？

推薦書がもらえない場合はどうしたらいいですか？

A: 推薦はどの「公的機関」(地方自治体、学校等)からでも構いませんが、教育委員会からの推薦書が一番望ましいです。申請団体が学校に所属している場合は、学校長・理事長の推薦をいただいて下さい。

推薦書が無い場合は、「添付資料の不足」ということで選考の対象外となります。

但し、申請団体が公的機関の場合、推薦書が不要となることがありますので、お問い合わせ下さい。

Q: 活動(事業)が複数の自治体にわたる場合、推薦書も複数必要でしょうか？

A: 活動(事業)の主体となる団体の所属する地方自治体からのみで結構です。

【申請について】

Q: 「過年度の実績」とは、具体的に何年分くらいでしょうか？

実績の無い新設団体は申請できないのでしょうか？

A: 2年分程度です。実績の無い新設団体でも、教育委員会からの推薦書があれば申請できます。

Q: 支出の項目で、人件費・交通費・謝礼金など、認められない費用というのがありますか？

A: 申請の活動(事業)のための費用であれば、特に認められない項目はございません。

但し、申請以外の活動(事業)や、当該団体の維持のための人件費・備品購入費・事務所管理費等は対象外です。

Q： 応募を助成の種類「C」にするか「D」にするか迷っています。どちらがよろしいですか？

または、両方に応募してもいいですか？

A： 大学生以下の青少年を対象とする活動(事業)であれば、内容が「D」に該当するものであっても、「C」への応募をお願いいたします。

Q： 同一団体が、異なる活動(事業)名で複数応募できますか？

A： 応募は一件に絞っていただくようお願いいたします。

Q： 海外からは応募できますか？助成の種類「B」・「C」・「D」は個人でも応募できますか？

A： 応募はすべて日本国内の個人・団体に、「A」は個人での応募、「B」・「C」・「D」は団体での応募に限ります。

Q： 過去に当財団の助成を受けたことがある団体が、再び申請することはできますか？

A： できます。

[送付先・お問い合わせ先]

公益財団法人 カメイ社会教育振興財団

(カメイ美術館内、10：00～17：00、月曜定休)

事務局長 今西 晃一

担 当 岡崎 恵美

〒980 - 0022

仙台市青葉区五橋 1 - 1 - 23

TEL : 022 - 264 - 6543

FAX : 022 - 264 - 6544

info@kameimuseum.or.jp

<http://www.kameimuseum.or.jp/foundation/>